

「次期環境基本計画策定に係る市民ワークショップ」の開催報告（速報）

1. 目的

次期府中市環境基本計画（以下、次期計画）の策定にあたり、様々な立場の市民が集まり市の環境に対して心配なこと、気になっていること、改善したいこと等を市民同士で把握し、様々な立場から何ができるかを考え合うことで、よりよい環境行動指針（市の環境をよくするための市民・事業者・市の行動マニュアル）の策定につなげるため、市民ワークショップを開催しました。

また、市内の明星高等学校の生徒さんに日頃の授業で取り組んできた環境保全に関する学習の成果を発表してもらうことで、市民への意識啓発とするとともにワークショップにも参加してもらい、次世代を担う若い世代の意見・考え方を取り入れた意見交換会としました。

2. 実施概要

日時	令和 4 年 4 月 24 日 14:30～16:40
場所	府中市役所 北庁舎 3 階第 1～3 会議室
人数（班数）	10 名（市民 4 名 明星高校生 3 名 東京外国語大学学生 3 名） （学生混合で 5 人×2 班）
形式	対面形式
ワークショップ内容	・市民の市の環境に対して心配なこと、気になっていること、改善したいこと、悪くなったと感じること、良くなったと感じること等 ・市民、市、事業者それぞれの具体的な環境行動指針（よりよい環境のためにそれぞれの主体ができること）を考える

2.1. スケジュール

スケジュール	時間（分）	内容
14:30～14:35	5	事務局開会あいさつ
14:35～14:45	10	事務局より情報提供
14:45～15:00	15	明星高校から取組（成果）発表 15分×1テーマ 質疑応答
15:00～15:10	85	10 ワークショップの流れ、方法等の説明
15:10～15:40		30 各班に分かれて自己紹介 テーマ 1 日常生活を送るうえで気になる環境の問題点を整理する
15:40～15:50		10 休憩
15:50～16:25		35 テーマ 2 よりよい環境のために各主体（市民・市・事業者）ができることを考える （市の環境をよくするための行動マニュアル）
16:25～16:35	10	10 各班発表（5分×2班）
16:35～16:40	5	事務局閉会あいさつ

3.実施結果

ワークショップでは、府中市の環境の概要や環境に関する取組の紹介、明星学苑高校生からの取組の発表内容を踏まえ、活発な意見交換が行われました。班ごと様々あがった意見を、策定中の環境基本計画で基本方針としている 5 つの分野である「気候変動・地球温暖化」「自然環境」「資源循環・廃棄物」「生活環境・歴史文化環境」「環境パートナーシップ・連携・協働」に整理し発表することで、情報共有を図りました。

「気候変動・地球温暖化」の分野では、実際に高温多雨を実感しており、エアコンの使用が増えた、自然災害への備えが心配といった意見が出されました。取り組めることとして、自宅でも太陽光発電設備と蓄電池を設置することで自然災害への備えとすること、市は率先して公共施設などへの太陽光発電設備の導入、公共施設の LED 化、再エネ電力への切替えをするべきといった意見が出されました。また、意識啓発促進として市や事業者のカーボンニュートラルに向けた取組が知りたいといった意見もありました。

「自然環境」の分野では、生物多様性という言葉はよく聞くが実感するという経験が少ない、府中にある生きものとふれあう機会が少ない、農地や畑が減少しており、減らさない取組や活用方法ができないか、といった意見がありました。郷土の森公園やけやき並木については肯定的な意見がありました。

「資源循環・廃棄物」の分野では、食品ロスやプラスチックのごみについて多くの課題、意見がありました。資源ごみについては、資源ごみがどのように活用されているか、実際に循環しているのか実感がないことから、資源循環の見える化で市民のリサイクル率が向上するのではといった意見がありました。また、事業者からプラスチックごみが出ないような製品に変えていく必要がある、食品ロスにしないため学校給食への活用ができないかといった意見がありました。

「生活環境・歴史文化環境」の分野では、道（歩道）が狭いところがある、ごみのポイ捨てが多い、目に見えないところにもごみが多い、甲州街道の交通量が多い、貼り紙やポスターが多いといった課題意見が出されました。

「環境パートナーシップ・連携・協働」の分野では特に多くの意見が出されました。そもそも協働のしくみが分からない、まちの人とふれあうなど協働の場がない、または知らない、市や企業の環境への取組や普及啓発といった情報が学生や若い人に届いていないといった課題が出されました。学校給食を活用した地産地消や食品ロスへの関心向上、ボランティアへの学校参加など、教育の場から環境への関心を高める必要があるといった、学生の視点が多く取り入れられた意見がありました。また SNS や動画、街中の情報発信媒体などを活用することで普及啓発に工夫の余地があるのではないか、本ワークショップのように気軽に意見交換できるプラットフォームがあるのではないかといった意見も出されました。

各班における発表結果を以下に示します。

テーマ1 日頃感じていること 課題・問題点

	気候変動 地球温暖化	自然環境	資源循環・廃棄物	生活環境・歴史文化環境	環境パートナーシップ 連携・協働
自身市民の生活において	<p>日中温度差が大きい</p> <p>エアコンの効率が悪い</p> <p>エコカーの普及が遅い</p>	<p>自然環境の減少</p> <p>緑地の減少</p> <p>自然環境の保全</p>	<p>資源の不足</p> <p>廃棄物の増加</p> <p>資源の循環</p>	<p>生活環境の悪化</p> <p>交通渋滞</p> <p>騒音問題</p>	<p>環境パートナーシップの推進</p> <p>連携の強化</p> <p>協働の促進</p>
市の取組や活動について	<p>多摩川の治水</p> <p>自然環境の保全</p> <p>資源の循環</p>	<p>自然環境の保全</p> <p>緑地の保全</p> <p>自然環境の保全</p>	<p>資源の循環</p> <p>廃棄物の削減</p> <p>資源の循環</p>	<p>生活環境の改善</p> <p>交通渋滞の解消</p> <p>騒音問題の解消</p>	<p>環境パートナーシップの推進</p> <p>連携の強化</p> <p>協働の促進</p>
事業者の取組や活動について	<p>環境意識の向上</p> <p>資源の循環</p> <p>廃棄物の削減</p>	<p>自然環境の保全</p> <p>緑地の保全</p> <p>自然環境の保全</p>	<p>資源の循環</p> <p>廃棄物の削減</p> <p>資源の循環</p>	<p>生活環境の改善</p> <p>交通渋滞の解消</p> <p>騒音問題の解消</p>	<p>環境パートナーシップの推進</p> <p>連携の強化</p> <p>協働の促進</p>

【1班】 環境の課題

テーマ2 取り組めること

	気候変動 地球温暖化	自然環境	資源循環・廃棄物	生活環境・歴史文化環境	環境パートナーシップ 連携・協働
自身市民の生活において	<p>太陽光パネル</p>		<p>資源の循環</p> <p>廃棄物の削減</p>		<p>環境パートナーシップの推進</p>
市の取組や活動について	<p>EVの普及</p> <p>自然環境の保全</p>	<p>自然環境の保全</p> <p>緑地の保全</p>	<p>資源の循環</p> <p>廃棄物の削減</p>	<p>生活環境の改善</p> <p>交通渋滞の解消</p>	<p>環境パートナーシップの推進</p> <p>連携の強化</p>
事業者の取組や活動について			<p>資源の循環</p> <p>廃棄物の削減</p>	<p>生活環境の改善</p> <p>交通渋滞の解消</p>	<p>環境パートナーシップの推進</p> <p>連携の強化</p>

【1班】 各主体が取り組めること

